

## 第5回総務文教常任委員会 概要報告

<b>年 月 日</b>	令和4年5月25日	<b>会場</b>	4階 大会議室	<b>案件</b>	所管事項の調査
<b>出席委員</b>	高橋伸典、山崎真由美、黒井徹、佐藤靖、清水一夫、遠藤隆男				
<b>委員外議員</b>	なし				
<b>欠席委員</b>	なし				

### 報告・調査事項審議

#### 【1】名寄市立大学の運営について

##### 1 名寄市立大学の現況について

- ① 大学の教職員数 教員数 81 名、事務職員数 43 名
- ② 学生の在籍状況  
栄養学科 161 名、看護学科 195 名、社会福祉学科 199 名、社会保育学科 202 名
- ③ 入学・志願状況  
保健福祉学部全体で、志願者 551 名に対し受験者 373 名  
合格者 226 名の内、入学者 187 名、平均倍率 1.7 倍
- ④ 令和4年度入学生の出身高校所在自治体  
多い自治体（北海道内） 旭川市（25 名）、札幌市（18 名）、帯広市（9 名）  
北海道外 岩手県（18 名）、秋田県（8 名）、青森県（7 名）

##### 2 コミュニティケア教育研究センター

###### 令和3年度活動実績報告及び令和4年度活動計画について

- 報告 教育分野、研究分野は基より、先駆的实践として「なよろ子ども支援プロジェクト」、自治体・関係機関等との協力として、Nスポーツコミッション「なよろ健康レシピ開発プロジェクト」の実践を報告
- 計画 組織運営、教育、研究、先駆的实践、地域交流、社会連携、情報発信の事項毎に計画

##### 3 助産師課程（看護学科）の申請について

本年7月末日までに、文部科学省高等教育局医学教育課へ、保健福祉学部看護学科助産師課程（定員4名）の申請を予定。

###### 〈質疑等〉

- Q 公立旭川大学の地域枠に対する対応は。
- A 今後学内で検討していく。上川北部に設けている地域枠に対し、最大数の受験につながっていない。コロナ禍で高大連携授業はできなかったが、オープンキャンパスをポイントとして入学者に繋がる取り組みを進めていく。
- Q 社会保育学科全員が、保育士として就職するための手立ては。
- A 就職は、あくまでも本人の選択であるが、実習先確保とともに適切に実習が進められるようにする。

## 【2】教育行政の推進について

令和4年度所管事項の概要について

### 1 学校教育課

- ・ 児童生徒数 1,761名(77名減) \* ( ) は対前年度比
- ・ 学級数 普通学級 68学級(2学級減)  
特別支援学級 46学級(3学級増)
- ・ 学校教育情報化推進事業整備状況について  
令和4年度、オンライン学習配信機器セット(ビデオカメラ・收音マイク等)  
の整備、モニタリングソフトを導入

<質疑等>

Q 一人一台タブレットの教育的効果を高める上で、家庭への持ち帰りの計画は。

A 各家庭の通信環境を確認、検討している状況。

### 2 参事(特命課題担当)

#### ① 高等学校支援事業

- ・ 令和4年度第1回名寄市内高等学校魅力化推進委員会開催
- ・ コミュニティスクール形成に向けて勉強会開催予定(6月7日)
- ・ 名寄市内高等学校学習教材支援事業補助金  
令和4年度入学生に対し補助 141名×3万円=423万円

#### ② 智恵文義務教育学校整備事業

- ・ 5月下旬入札を予定。8月から令和5年3月に新棟増築工事の予定
- ・ 智恵文義務教育学校開校準備委員会において、校章、校歌等について協議

#### ③ 名寄中学校・名寄東中学校の整備方針について

令和3年度実施の耐力度調査結果と名寄市内中学校生徒・学級数推計により、名寄中学校は改築、名寄東中学校は改築の整備方針

### 3 参事(指導主事)

- ① 知・徳・体の調和のとれた児童生徒をはぐくむ教育の推進
- ② 特別支援教育の推進
- ③ 社会変化に対応する力を育てる教育の推進
- ④ 信頼される学校づくりの推進

### 4 生涯学習課・名寄市公民館

生涯学習社会の形成、家庭教育の推進、青少年の健全育成、地域文化の継承と創造を主要施策とする。

### 5 智恵文公民館

生涯学習社会の形成、家庭教育の推進、青少年の健全育成、地域文化の継承と創造を柱に事業を計画する。

### 6 風連生涯学習担当・風連公民館

生涯学習社会の形成、家庭教育の推進、青少年の健全育成、地域文化の継承と創造を主要施策とする。

### 7 児童センター・青少年センター・教育相談センター・放課後こども教室

#### ① 児童センター

- ・ 児童館 安全安心な居場所を提供
- ・ 児童クラブ 安全安心な居場所の提供とともに、児童の健全な育成を図り保護者の

## 仕事と子育ての両立を支援

- ② 青少年センター 巡回活動を再開
- ③ 教育相談センター ハートダイヤル、適応指導教室（愛称「みんなの教室」）の取組
- ④ 放課後こども教室 名寄地区、風連地区において、小学生に特化して開催

## 8 北国博物館

特別展2件、企画展11件の他、青少年対象事業「小さな自然観察クラブ事業」などを予定

## 9 図書館

### 主要事業計画

- ① 「第4次名寄市子どもの読書活動推進計画」に基づく各種取組
- ② 各種計画と整合性を図りながら、本館建替えに向けた検討

## 10 天文台

天体観測並びに研究活動を通じ、天文愛好者・天体観測関係機関との連携をいかすことにより、市民への天文知識の普及と科学教育の振興を図る。

## 11 学校給食センター

可能な限り地場産食材と活用し、1日約2,100食、年間日数約200日の提供を予定<質疑等>

- Q 食材の高騰が懸念されるが、給食費への影響は。
- A 今年度、給食費を上げる予定はない。

## 【3】総合政策部所管事業について

### 1 令和4年度主要事業説明

#### (1) 総合政策課

- ① ふるさと応援寄附記念事業 新たな返礼品の掘り起こしと周知の拡充を行う。
- ② ゼロカーボン推進事業 再生可能エネルギーによるまちの活力UP事業等
- ③ 王子マテリア株式会社名寄工場生産品集約に係る敷地の利活用

#### (2) 計画担当

- ① 名寄市総合計画（第2次）
  - ・後期基本計画策定に向けた取組として、5月から関係団体等との意見懇談会を開催
  - ・中期実施計画事業の事務事業評価として、5月に総合計画審議会による外部評価を実施
- ② 地方創生について
  - ・名寄市総合計画（第2次）後期基本計画と整合を図り、名寄市まち・ひと・しごと創生総合戦略の改定を行う。
  - ・名寄市まち・ひと・しごと創生総合戦略  
現人口ビジョンと2020国勢調査人口・名寄市住民基本台帳人口に大きな乖離が生じたため、現状に即した人口推計に改定
  - ・企業版ふるさと納税  
令和3年度実績は、3件 10,200千円
- ③ 定住自立圏構想  
協定項目の加除について協議、構成市町村会議の開催、共生ビジョン懇談会の開催
- ④ 名寄市公共施設等再配置計画推進に向けた取組

講演会、タウンミーティング、まちづくりワークショップ開催

<質疑等>

- Q 人口推計が大きく乖離との意味合いは。人口推計の変更による計画変更の基本的考えは。
- A 人口推計の改定に沿って、計画を変更していく。  
教育部の計画は、児童生徒の生の人数を基本としている。

(3) 地域課題担当

① 地域公共交通の取組について

- ・宗谷本線活性化推進協議会における取組、宗谷線ステーションカードの配布等
- ・地域公共交通活性化協議会において、コミュニティバス西回り線減便に対する検討

② 地域コミュニティの推進

<質疑等>

- Q 宗谷本線「なよろ高校駅」の利用状況は。
- A 利用生徒数はおさえていないが、宗谷本線として利用者数が伸びている。

(4) 秘書広報課

① 移住定住推進

移住体験ツアーの受入、移住オンラインイベント実施、モニターツアーの実施等

② 広報広聴推進

市長訪問広聴、出前トーク、プロモーション推進事業等

(5) スポーツ・合宿推進課

① スポーツ施設整備事業

スポーツセンター暖房設備等改修工事、市営球場グレーチング改修工事等

② スポーツ振興事業

スポーツフェスティバル、JOC ジュニアオリンピックカップ 2023 全日本ジュニアスキー選手権大会兼全日本小・中学生選抜スキー大会、学校施設開放事業等

③ スポーツ合宿推進事業

冬季スポーツ拠点化事業

N スポーツコミッション運営支援として、スポーツ人材育成事業、スポーツ健康ステーション開設、スポーツ地域活性化、広域まちづくり事業

2 新たなスポーツ施策の展開について

N スポーツコミッション新組織体制と将来像素案・・・2028～地域商社を目指す

3 補正予算について

**【4】総務部所管事業について**

1 主要施策及び報告事項について

(1) 総務課

- ア 新個人情報保護法に対応するための例規整備
- イ 北海道市町村職員退職手当組合理約変更

(2) 総務部（行革・職員・研修担当）

ア 職員研修について

北海道市町村職員研修センターへの派遣研修、「山形県鶴岡市」「東京都杉並区」

「北海道後期高齢者医療広域連合（札幌市）」への職員派遣

- イ 職員定年延長制度の導入について  
定年退職年齢が、「60歳」から「65歳」に段階的引き上げ、役職定年制の導入
- ウ 令和5年度名寄市職員採用について

(3) 総務部（デジタル推進担当）

本市におけるDX（デジタル・トランスフォーメーション）の推進について  
令和4年度名寄市DX推進事業として、庁舎全体の業務可視化調査を行い、デジタルによる業務改善を目指す。

(4) 総務部（防災担当）

- ア 令和4年度名寄市防災訓練について  
小学生対象の「防災体験教室」を実施  
冬期間や感染症対策を意識した防災セミナーなど検討中
- イ 名寄市防災マップの作成について  
河川の新たな浸水想定公表と土砂災害警戒区域の新たな指定に伴い、防災マップを作成
- ウ 名寄市地域防災計画の修正について

(5) 市史編さん室

- ア 名寄市史の進捗状況について  
新たな市史の名称は「名寄市史（新市版）」、令和6年度の発刊を予定。